

Title	経済学関係文献目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1954
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.47, No.8 (1954. 8) ,p.867(79)- 870(82)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19540801-0079

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

A. シヤトラン

『勞働力と第十九世紀における鐵道敷設』

フランスにおける初期の鐵道敷設をめぐる政治上、金融上、技術上の諸問題については、既に研究書が多い。しかし貧弱な機械力しか利用することが出来なかつた初期における鐵道の敷設にとつて重要な意味を持つと思われ、鐵道の敷設に必要な諸問題については、説明したものがない。鐵道の敷設に必要大量の勞働者がフランスにおいては、何處から集つて来たのか。又鐵道の敷設に従事するため現場に集つた大量の勞働者をめぐつて起つた問題には如何なるものがあつたか。正にこれ等は解明を要する重大な問題といわなければならぬ。その意味においてシヤトラン氏の近業 Abel Chataleain "La main-d'oeuvre et la construction des chemins de fer au XIXe siècle" Annales Economiques Sociétés-Civilisations. Octobre-December-1933, pp. 502-506. は注目すべき業績であつた。氏は、例えばグラン・サントラルを敷設するためロワール縣のロアンヌに集つて来た勞働者の場合について、一八五五年にその数が三、〇〇〇名を越えていたと述べている。ところで氏によれば、これ等の「勞働者達は、大部分がよそ者であつただけに、住民を妨碍してあらゆる種類の亂暴を働き、……そして、大膽にも自分の作物を守らうとする不幸な人々を、白晝公然と苦しめたりおどしたりした。かくして彼等は人々に對し深い恐怖を與え又地方官憲の徴力と無氣力とは、彼等の掠奪を助勢した」のであつた。「掠奪者の多くは銃を持ち、餘暇を武力に訴えて密獵や掠奪に過していた」といわれ、鐵道建設に従事するため集つた勞働者の起した社會不安は、氏によれば、ロワール縣のロアンヌにおいて意外に深刻なものであつたのである。とにかくこのように、鐵道の敷設に従事する勞働者によつて

深刻な社會不安が惹き起されたのであつた。しかし鐵道の敷設のためには、「土工、坑夫、あらゆる種類の人足を、夥しく集めなければならぬ」。この仕事は一定の體力だけを必要とし現に「苦勞に慣れた人々」が、一般の三倍も高い賃銀に誘惑され、よりよい生活を期待して故郷を離れ、鐵道の敷設に従事するため、各地から集つて来たのである。そしてこれについて氏は、「若干の地方、例えばアルサスやドイツに近い地帯、一方からいへばフランスの北部やフランス、他方からいへばサボワやピエモンテに近い地帯が、この種の勞働者の大多數を供給して来た」という。しかし一方においては、多くの勞働者が鐵道の工事現場に行くため故郷を離れたことは、地方官憲に重大な衝動を與え、勞働者の移動を抑えるため、高い手数料を支拂わない限り旅券を交付しないという極端な規定が設けられた程であつた。このように、勞働者をめぐる問題は、氏によれば、それを供給する側においても、地方官憲の重大な關心事となつていたのである。

とにかく鐵道を建設するためフランスの各地から勞働者が集つたが、特に第二帝政時代の末期においては、外國人勞働者の進出が目立つて著しくなつて来たことを、氏は指摘している。そしてこの一例として氏は、アレとプリウドとを結ぶ鐵道の敷設に従事した勞働者六、〇〇〇名のうち、五、六〇〇名のフランス人を除いた四、〇〇〇名は、スペイン人、ベルギー人、イタリ人であつた事實を擧げるのである。ところで、これ等の外國人勞働者達は、フランス人勞働者よりも低い賃銀をもつて鐵道の敷設に従事しようとしたため、フランス人勞働者はこれに反對して團結し、各地に外國人勞働者を排斥する激しい運動が起つたのであつた。そして、鐵道の敷設に従事する勞働者によつて惹き起された社會不安は、この外國人勞働者の採用において頂點に達したと氏は考へるのである。(渡邊 國廣)

經濟學關係文献目錄

(昭和二十八年四月・五月)

- 理論・學說史・經濟思想
- * 社會科學基礎講座 5 宮川實、柳田謙十郎編 B6 一五五頁 一〇〇圓 青木書店
 - * ビグウ厚生經濟學 2 永田清監修 A5 四二二頁 六五〇圓 東洋經濟新報社
 - * 資本論論攷 (青木文庫) レオンチエフ著 宇高基輔、土屋保男譯 A6 二四九頁 一〇〇圓 青木書店
 - * 經濟學史 下 (青木文庫) ローゼンベルグ著 廣島定吉他譯、A6 一五五頁 一二〇圓 青木書店
 - * 日本經濟の構造分析 中山伊知郎編 A5 二三八頁 上 五五〇圓 下 二三八頁 四〇〇圓 東洋經濟新報社
 - * 經濟學、その生成と發展 石原忠男著 A5 四三〇頁 五二〇圓 三和書房
 - * サムエルソン經濟學講義 上 川田壽著 A5 二八二頁 三八〇圓 三和書房
 - * 日本經濟と國民所得 經濟審議廳調査部國民所得課編 A5 三九二頁 五五〇圓 學陽書房
 - * 古典經濟學批判史 リカアドオからマルクスへ 著 A6 二八六頁 四五〇圓 新評論社
 - * 純粹經濟學要論 下 (岩波文庫) ワルラス著 手塚壽郎著 A6 三四六頁 一二〇圓 岩波書店

財政・金融・保險・證券

經濟學關係文献目錄

- * 昭和財政史 14 地方財政 大藏省昭和財政史編集室編 A5 五〇九頁 一二〇圓 東洋經濟新報社
 - * 財政の基礎的理論 大淵利男著 A5 四七〇頁 六五〇圓 三和書房
 - * 財政學入門 新訂 沙見三郎著 B6 二一四頁 二〇〇圓 廣文社
 - * 國際金融講義 下 堀江薫雄著 A5 九九頁 一三〇圓 東大出版會
- 商工業・經營・會計
- * 公企業研究の世界的動向 竹中龍雄著 A5 三五二頁 四八〇圓 森山書店
 - * 公經營管理 古野都美著 A5 四二三頁 五五〇圓 技報堂
 - * 豫算統制制度 (新經營學選書) 和田木松太郎著 B6 九七頁 三〇〇圓 泉文堂
 - * 經營政策 最高經營政策論 山城章著 A6 四三五頁 五五〇圓 白桃書房
 - * 企業の經營と原價計算 經營と會計(下) 黒澤清著 A5 四四二頁 六〇〇圓 同文館
 - * 商業の歴史 (文庫クセジュ) ルフラン著 町田實譯 B6 小 一四三頁 一二〇圓 白水社
 - * 會計學總論 田島四郎監修 B40 二〇六頁 一〇〇圓 評論社

* 商業經營論 田島四郎監修 B 40 一九四頁 一〇〇圓 評論社

労働・社会政策

- * 日本共産黨小史 (國民文庫) 市川正一著 A 6 二一七頁 九〇圓 國民文庫社
- * 労働生産性の諸問題 増田米治著 A 5 四六七頁 五五〇圓 労働法令協會
- * 國際労働組合運動史 (國民文庫) ジムイホフ著 野間清譯 A 5 三八六頁 一五〇圓 國民文庫社
- * 第三回世界労働組合大會 9 諸決議をどう實踐するか 第三回世界労働組合大會普及実行委員会編 A 6 四〇四頁 二〇圓 五月 書房
- * 労働運動の理論 S・パールマン著 松井七郎譯 B 6 三二五頁 三五〇圓 法大出版局
- * 占領下日本の賃金問題 (青木文庫) 日本資本主義研究会編 A 6 二六五頁 一一〇圓 青木書店
- * 國際共産主義運動の沿革と現勢 村井順著 B 6 二一七頁 二〇圓 日本出版協同KK
- * 労働争議 有泉亨他著 B 6 三二二頁 三〇〇圓 勁草書房

農業・林業・水産業

- * 農業經濟學 コーエン著 本岡武、山本修譯 A 5 二五五頁 三二〇圓 富民社
- * 綴 貧しさからの解放 近藤康男著 B 6 二六一頁 一八〇圓 中央公論社
- * 日本農業發達史 農業調査會發達史調査會編 A 5 七六九頁 二、〇〇〇圓 中央公論社

歴史

- * 現代日本小史 中 普及版 矢内原忠雄編 B 40 一九二頁 一五〇圓 みすず書房
- * 近代社會 新日本史大系 6 小西四郎著 A 5 四八四頁 六八〇圓 朝倉書店
- * 江木鰯水日記 上 大日本古記録 東京大學史料編纂所編 A 5 三三四頁 八〇〇圓 岩波書店
- * 日米文化交流史 2 通商産業編 小原敬士編 A 5 五三七頁 一、〇〇〇圓 洋々社
- * 現代日本小史 下 普及版 矢内原忠雄編 B 40 一八〇頁 一五〇圓 みすず書房
- * 英國社會史 下 増訂版 今井登志喜著 A 5 一五〇頁 四〇〇圓 東大出版會
- * 近代ドイツの政治と社會 林健太郎著 A 5 二二三頁 五〇〇圓 弘文堂
- * 概説近代歐洲政治社會史 小松春雄著 B 6 三九九頁 二五〇圓 小峰書店
- * 現代英國史 スペンダー著 中村祐吉譯 A 5 一、〇八九頁 一、三〇〇圓 富山房
- * ドイツ現代史 村瀬興雄著 A 5 三三六頁 四五〇圓 東大出版會
- * フイレンツエ史 上 (岩波文庫) マキアヴェルリ著 大岩誠譯 A 6 三三八頁 一一〇圓 岩波書店
- * 近代資本主義の起源 (創元文庫) H・セー著 土屋宗太郎泉雄雄譯 A 6 二五六頁 一一〇圓 創元社
- * 世界經濟學原理 松井清著 A 5 二五〇頁 三二〇圓

世界經濟・貿易・海外事情

- * 日本評論新報 日本評論新報社
- * 日本の貿易 (岩波新書) 松井清著 B 40 二〇九頁 一〇〇圓 岩波書店
- * ドルの打ち建てた世界 下 スタイン著 茂木政譯 B 6 一七三頁 一八〇圓 岩波書店
- * 現代帝國主義と獨占資本 (知識文庫) ドボルキン著 小山蟲外譯 B 6 小一三八頁 八〇圓 岩崎書店

社会学

- * 輿論と政治 社會學大系 12 田邊壽利著 B 6 二五二頁 二八〇圓 石泉社
- * 社會學入門 (創元文庫) H・フライヤー著 阿閉吉男譯 A 6 二四〇頁 一一〇圓 創元社
- * 現代のマス・コミュニケーション 南博著 B 6 一七二頁 一八〇圓 要書房
- * 社會學の諸問題 (高田先生古稀祝賀論文集) 小松堅太郎他編 A 5 四九六頁 七六〇圓 有斐閣
- * ゲマインシャフトとゲゼルシャフト テンニエス著 杉之原壽一譯 A 5 三四七頁 五八〇圓 理想社
- * 中國農村慣行調査 2 中國農村慣行調査刊行會編 B 5 五五五頁 一、二〇〇圓 岩波書店

社会思想

- * 社會思想と無神論 プロコフイエフ著 鹿島保夫譯 B 6 二五〇頁 二三〇圓 新興出版社
- * スターリン全集 6 スターリン全集刊行會編 B 6 四六九頁 二八〇圓 大月書店
- * 一步前進・二歩後退 (國民文庫) レーニン著 平澤三郎譯 A 6 三三六頁 一四〇圓 國民文庫社

經濟學關係文獻目錄

經濟事情

- * 國家權力の構造 平野義太郎新著作集 2 平野義太郎著 A 5 三五二頁 四八〇圓 理論社
- * 現代獨占資本と軍國主義 ヴィシネフ著 織田恒雄譯 B 6 二九四頁 三〇〇圓 三一書房
- * 日本資本主義講座 4 神野璋一郎編 A 5 四一〇頁 二八〇圓 岩波書店
- * 現代の終末 (創元文庫) ヘルジャエフ著 宮崎信彦譯 A 6 一七九頁 八〇圓 創元社
- * 社會思想史 上 (創元文庫) セリグマン編 立川昭二譯 A 6 二六八頁 一五〇圓 創元社
- * ミル功利主義 (ロコス新書) 和田聖嗣譯 B 6 二〇一頁 二〇〇圓 福村書店
- * 矛盾の論理學 (青木新書) 山崎謙著 A 40 二九八頁 一五〇圓 青木書店
- * 毛澤東選集 學習參考資料Ⅱ 尾崎庄太郎譯 B 6 三四〇頁 三二〇圓 三一書房
- * スターリン全集 7 スターリン全集刊行會編 B 6 四三四頁 二八〇圓 大月書店
- * ハロルド・ラスキ研究 政治研究叢書 (1) 横越英一他著 B 5 二二六頁 二八〇圓 勁草書房
- * 中國革命の理論 上 新民主主義經濟研究會編譯 B 6 二八五頁 三〇〇圓 三一書房
- * 哲學の貧困 (國民文庫) マルクス著 高木佐一郎譯 A 6 二五二頁 一〇〇圓 國民文庫社
- * 一九一七年の革命 上 (青木文庫) レーニン著 勝部元譯 A 6 二三八頁 一〇〇圓 青木書店

年鑑・辭書

- * 日本經濟年鑑 二九年版 勝川喜之助編 B5五五六頁 一、二〇〇圓 日本經濟新聞社
- * 中國經濟年報 4 一九五三年七月九月 中國研究所編 B6二四〇頁 二〇〇圓 六月 書店
- * 體系商品辭典續編 石井賴三、大越諒他編 A5四四〇頁 八〇〇圓 東洋經濟新報社
- * 勞働經濟四季報 8 一九五三年一〇—十二月 勞働經濟研究會編 B6三一八頁 二五〇圓 勞働經濟社
- * 交通年鑑 昭和29年版 交通協力會編 B6七四一頁 七五〇圓 交通協力會

昭和二十九年七月二十五日印刷
昭和二十九年八月一日發行

第四十七卷
第八號

定價 七〇圓
送料 四圓

編輯者 氣賀健三
發行所 東京都港區芝三田豐岡町八
川口芳太郎

印刷所 圖書印刷株式會社

豫約購讀料

一年分 金八四〇圓 (送料共)
半々年分 金四二〇圓 (〃)

發行所 東京都港區芝三田三丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室內
慶應義塾經濟學會